

# 科学基礎論学会 2023 年度 秋の研究例会プログラム

日付：2023年11月25日（土）

共催：神戸大学大学院経営学研究科

会場：神戸大学（六甲台第1キャンパス 社会科学系アカデミア館）<sup>1)</sup>

参加費：無料（非会員：1,000円、ただし神戸大学の教員・学生は無料）

※会員・非会員ともに参加登録が必須となります。詳細は学会ウェブサイトをご確認ください。

## 【A会場：501】

9:30～11:30 「部分構造論理からWittgensteinを／Wittgensteinから部分構造論理を読み解く」

<オーガナイザ> 岡本 賢吾（東京都立大学）

1. 岡本 賢吾（東京都立大学）  
「部分構造論理の哲学的眼目：高階性（多相性polymorphism）と様相性（指数性exponentiality）」
2. 入江 俊夫（東邦大学）  
「論理学・数学の哲学における「言語ゲーム論」の展開」
3. 三上 温湯（東京都立大学）  
「概念記法から超越論的シンタクスへ」

11:30～12:00 科学基礎論学会奨励賞発表および授賞式【A会場（501）】

12:00～13:00 昼休み・企画広報委員会（403）

## 【A会場：501】

13:00～15:00 「現場の技術を踏まえた技術論、技術倫理の試み」

<オーガナイザ> 斉藤 了文（関西大学）

1. 斉藤 了文（関西大学）  
「客観的な世界に、どうして価値が関わるのか」
2. 金光 秀和（法政大学人間環境学部）  
「教養教育としての技術哲学・技術倫理の必要性」
3. 藤木 篤（芝浦工業大学工学部機械機能工学科）  
「予防倫理としての技術者倫理とグリーンケアの視点」
4. 直江 清隆（東北大学大学院文学研究科）  
「人工物の価値と責任分散の問題」

15:15～17:45 学会企画「ハーバート・サイモンの哲学」【A会場（501）】

<オーガナイザ> 大塚 淳<sup>2)</sup>

<基調講演者> 安西 祐一郎<sup>3)</sup>、サラス・サラスバシー<sup>4)</sup>

<提題者> 吉田 満梨<sup>5)</sup>、植原 亮<sup>6)</sup>

18:00～20:00 懇親会（神戸大学六甲台第2キャンパス 工学部 Sky Dining）

## 【B会場：404】

9:30～11:30 「科学哲学と中等教育における科学教育」

<オーガナイザ> 森田 紘平（神戸大学）

1. 森田 紘平（神戸大学）  
「科学哲学は科学教育の役に立つのか？」
2. 草場 哲（横浜国立大学）  
「研究者からの中等科学教育へのアプローチ」
3. 若杉 誠（神戸大学附属中等教育学校）  
「科学について教える」と「科学を教える」：科学哲学を参照した理科教育実践」
4. 勝部 尚樹（神戸大学附属中等教育学校）  
「人文・社会科学系の探究学習の現状と課題」

## 【B会場：404】

13:00～15:00 「時間の中のプリゴジン：哲学と物理学を架橋する」

<オーガナイザ> 平井 靖史（慶應義塾大学）

1. 丸岡 敬和（京都大学基礎物理学研究所）  
「現代熱力学の発展におけるプリゴジン哲学とベルクソン哲学の共鳴」
2. 小出 明広（無所属）  
「現代物理学から俯瞰するプリゴジンが探求した不可逆性」
3. 平井 靖史（慶應義塾大学）  
「不可逆性・粗視化・内部時間——拡張ベルクソン主義者としてのプリゴジン」

※ 9時00分より受付を開始いたします。

※ 休憩室は503です。

1) 神戸大学（六甲台第1キャンパス） 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1

<https://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/rokko/rokkodai-dai1.html>

= 交通アクセス =

徒歩：阪急「六甲」駅から15～25分

神戸市バス：阪神「御影」駅、JR「六甲」駅、阪神「六甲」駅から36系統鶴甲団地行、鶴甲2丁目止まり行き乗車

→「神大正門前」下車

2) 京都大学 3) 慶應義塾大学 4) バージニア大学（ご事情により参加は見送りとなりました） 5) 神戸大学 6) 関西大学